

艾葉 ARTEMISIAE FORIUM

(基原) 1) 2) 3) 4) 10)

局方外

ヨモギ *Artemisia princeps* Pampanini 又はヤマヨモギ (オオヨモギ) *A. montana* Pampanini (科名: キク科 *Compositae*) の葉及び枝先である。

①中国産: *A. argyi* LEVL. et VANT.、その他 *A. princeps* Pampanini *A. lavandulaefolia* DC. など。

②採集時期: 葉は6-7月採集し、陰乾する。

モグサ (オオヨモギ) は5月頃採集し、陽乾のあと臼ですりつぶし篩にかけ毛 (腺毛) だけを集める。

③植物名の由来: *Artemisia* = ギリシャ神話の女神、*princeps* = 最上の
ヨモギ = 善燃草 (善く燃える草)、ヨモギ (四方草 (四方に生える草))
モグサ = 燃ゆる草

④別名: 祁艾 (ぎがい) = 中国山西省祁州産のもの

熟艾 (温灸艾) = 葉の毛を掻き取り綿状槐にしたもの (緑もぐさ)

餅草 (もちくさ) = ヨモギ餅に用いられるため (筆者の好物)

Mugwort (英名) = mug (湯飲み) + wort (草)

参考①ヨモギは艾が正字で蓬は誤り。蓬は蒙古高原に繁茂する植物で、冬に枯れ草が丸く固まり高原を転がることから転蓬 (てんほう)・飛蓬 (ひほう) と呼ぶ。

②中国では艾で虎の形を作り門戸に懸けておくと毒気を払うとされる「艾虎懸門」の風習がある。神農祭の虎の張り子は江戸時代コレラが流行した時に魔除けとして始まったもので、中国の「艾虎懸門」の影響と推測される。

(性状) 1)

本品は縮んだ葉及びその破片からなり、しばしば細い茎を含む。葉の上面は暗緑色を呈し、下面は灰白色の綿毛を密生する。水に浸してひろげると、形の整った葉身は長さ4~15cm、幅4~12cm、1~2回深く羽状中裂又は葉状深裂する。裂片は2~4対で、長だ円状ひ針形又は長だ円形で鋭尖頭、ときに鈍頭、辺縁は牙齒、深欠刻又は全縁である。小型の葉は3中裂又は全縁で、ひ針形を呈す

る。特異なおいがあり、味はやや苦い。

(産地) ^{2) 3)}

- ・国内各地及び中国の安徽省、山東省。モグサは伊吹山・日光のものが有名。
- ・北里東医研：新潟県

(品質) ¹⁾

- ①本品は茎3mm以上の茎3.0%以上を含まない。
- ②希エタノールエキス13.0%以上（局方規定）
- ③茎を含まず葉の表面は緑が濃く、柔らかく香りの良いものが良品（北里基準）

(成分) ^{5) 6)}

精油成分：cineol α -thujone

脂肪酸：capric acid palmitic acid stearic acid

蠟質：hentriacontane tricosanol-(12) arachinic acid

ビタミン類：vitaminA、B₁、B₂、C、D adenine

タンニン：caffetannin 3,5-dicaffeoylquinic acid

その他：amylase invertase catalase peroxydase

(現代薬理) ^{5) 6) 11)}

1) 高脂血症・肝障害防御作用

ラットに艾葉エキスを経口投与すると、過酸化コーンオイル投与による血清脂質、GOT・GPTの上昇が抑制された。また、肝LPOの上昇を抑制した。

2) 脂質過酸化抑制作用

dicaffeoylquinic acidはラット肝ミトコンドリアでのアスコルビン酸およびADPによる過酸化脂質の生成、肝ミクロゾームでのNADPHとADPによる過酸化脂質の合成を強く抑制した。

3) 血液凝固抑制作用

水性エキスの低分子分画はaPTT、PTを著名に延長させ、強い抗凝固作用を示した。

4) 抗アレルギー作用

分子量5000以上の高分子画分はラット肥満細胞からの脱顆粒及びPCA反応を50mg/kg投与で、tranilast100mg/kgと同等以上の抑制を示した。

5) 補体活性化作用

多糖体成分はalternative及びclassical両方の経路を介し、補体を活性化した。

6) ヒスタミン遊離抑制作用

dicafeoylquinic acidはラット肥満細胞からのヒスタミン遊離を抑制する作用が認められた。

7) 抗炎症作用

水エキスはカラゲニン浮腫の抑制、3 α -hydroxysteroid dehydrogenase阻害作用を示した。

8) 酵素阻害作用

dicafeoylquinic acidは強いモノアミノオキシダーゼ阻害活性を示した。

9) 鎮痒作用

艾葉軟エキスより調整したヨモギローションは抗ヒスタミン作用、ヒスタミン遊離抑制作用を有し、皮膚搔痒症患者に対し使用効果が認められた。

止痒

(古典的薬能・薬効) ^{7) 8)} 此

名医別録：味苦微温、無毒。百病に灸するを主る。煎と作すべし。下痢、吐血、下部とくその醫瘡、婦人の漏血を止め、陰氣を利し、肌肉を生じ、風寒を辟け、人をして子を有らしめる。

本草綱目：温中、逐冷、除湿

中医学：気味は苦辛温、婦経は肝・脾・腎・で温経・止血・散寒・除湿・止痛

(該当処方) ¹²⁾

① 芎歸膠艾湯 (別名：膠艾湯 出典：金匱要略 婦人妊娠病)

② 栝葉湯 (出典：金匱要略 驚悸吐血下血胸滿瘀血病)

条文：吐血不止、栝葉湯主之。

栝葉 乾姜各三両、艾三把 右三味、以水五升、取馬通汁一升、合煮、取一升、分温再服

乾姜は馬の汗

金毛こう石

(その他) ^{9) 10)}

1) 民間薬

①ヨモギ酒：根300gを1.8リットルの清酒に浸けて、半年以上熟成して服用。

喘息に有効

②浴剤として艾葉300g 或いは生の葉600gを木綿の袋に入れ、お風呂に入れる。

腰痛、腹痛、痔の痛みに有効。

③新鮮な艾葉の青汁は血圧降下作用。

ドクダミも入れても良い

韓国・ヨモギサウナ

④外傷の出血によく揉んだヨモギを患部に着けると止血作用がある。韓国では冬。

⑤韓国ではヨモギのサウナが有名。肌がつやつやして、香りでリフレッシュ。

2) 調整法¹³⁾

茎をすて葉だけを取り、よく揉みて茯苓を少しまぜ、火にあぶり、そのまま薬研で粉にして用いる。

一色直太郎

3) 軟膏：北里研究所東医研A G O軟膏

ヨモギ
黄柏

ヨモグール
びわエキス

(参考文献)

- 1) 日本薬局方外生薬規格 pp.10
- 2) 和漢薬百科図鑑 下巻 難波恒雄著 pp.79~80
- 3) 日本薬草全書 水野端雄 pp646
- 4) 植物一日一題 牧野富太郎 pp50,112
- 5) 生薬ハンドブック 丁 宗鐵 pp.25
- 6) 和漢薬物学 大塚恭男 南山堂 pp165
- 7) 平成薬証論 渡邊武 pp232
- 8) 漢薬の臨床応用 神戸中医学研究会 pp246
- 9) 家庭の民間薬 水野端雄 pp532
- 10) 生薬随筆 田中孝治 都薬雑誌Vol.15No.5(1993)
- 11) 室井延之ら ヨモギ抽出エキスの抗ヒスタミン作用および皮膚搔痒症に対する臨床効果 病院薬学Vol.20, No.1(1994)
- 12) 大塚敬節 金匱要略講話 日本漢方医学研究所編 pp412
- 13) 一色直太郎 和漢薬の良否鑑別法及調整法 谷口書店 pp110

(文責：金 成俊)